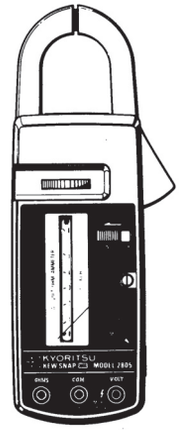
取扱説明書

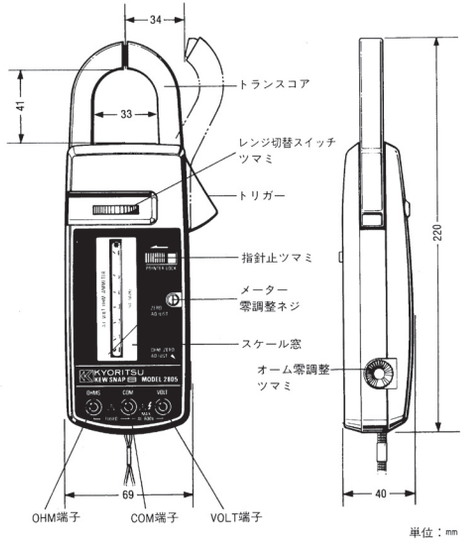


レンジ別に切換えられるロータリー（ダイヤルドラム）スケールで行われるため読み誤りの心配がないクランプテスタです。回路を遮断したり、メータを接続したりする手間なしで、絶縁被覆の上から活線を挟むだけで正確に電流の測定ができます。
電気諸設備、施設のアフターサービス、保守、チェックに、或いはモーター、コンデンサ等の故障箇所をすばやく発見するのに重宝です。

アナログクランプメータ

キュースナップ

MODEL 2805



単位：mm

共立電気計器株式会社

1. 仕様（温度+18℃ ~28℃、湿度80％以下）

標準測定範囲

交流電流（5レンジ）: 6/20/60/200/600A.
交流電圧（3レンジ）: 150/300/600V.
抵抗（1レンジ） : 0~2KΩ（中央値25Ω）

精　度

交流電流 : 50/60Hzでは最大目盛値の±3％以内、但し6Aレンジは±10％以内
交流電圧 : 最大目盛値の±3％以内
抵　抗 : 目盛長の±3％以内
周 波 数 : 50~400Hz
絶縁耐力 : 電気回路と外箱及びコアー金属部門で10MΩ以上/1,000V
過負荷保護 : 0.5A/250Vヒューズにて保護
被測定導体径 : 最大φ30mm
外形寸法 : 220 (L) ×83 (W) ×40 (D) mm
重　量 : 約390g
電　源 : SUM-3=R6P（1.5V）
付 属 品 : 測定コード (Model-7066) ,携帯ケース（Model-9054）,取扱説明書
別 売 品 : キューエナージャイザー (Model-8021) マルチトラン (Model-8004・8008)

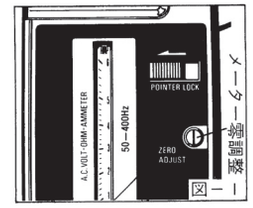
2. 使用上の注意

●電圧及び抵抗端子に過入力を加えないよう、ご注意下さい。
●電流測定時は、電圧又は抵抗端子を差し込んだ状態で使用しないでください。
●AC600V以上の高圧回路で電流を測定しないで下さい。
●高温・多湿の場所、結露するような場所、及び直射日光下に放置しないでください。

3. 測定方法

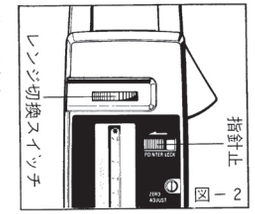
3-1. 測定準備

(1) ゼロ調整
最大の精度を得るために、指針はゼロ調整ネジにより、正しくゼロ位置にセットして下さい。これは電流及び電圧測定時に必ず行ってください。(図1)



図－1

(2) 指針止の解除
指針止ツマミを右にスライドさせ、指針が自由に振れる状態にして下さい。
これは、電流・電圧及び抵抗測定時にも必ず行って下さい。(図2)



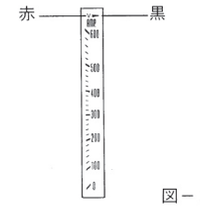
図－2

3-2. 交流電流測定

（電流スケールの印刷はすべて黒色です。）

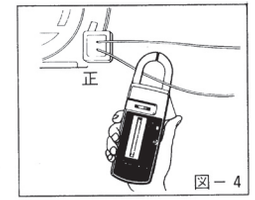
⚠ 注 意
測定前、測定コードが本器に取付けられていない事を確かめて下さい。

(1) レンジ切換スイッチを回転させ、電流レンジの最高600Aをスケール窓に出してください。(図3)

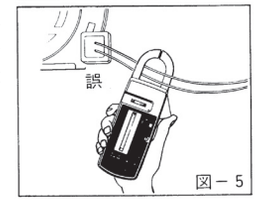


図－3

(2) 本器右側に突出しているトリガーを押し、トランスコアを開き、被測定導体の一方のみを、トランスコアではさみ込み、トランスコアを閉じ、指定値を読んで下さい。導線は必ず一方（一本）のみをはさんで下さい。(図4) 二本を挟むのは誤りです。(図5)

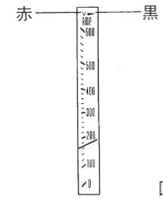


図－4

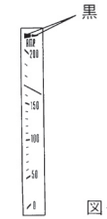


図－5

(3) 指針の振れが下の方(200A以下)であれば(図6)、レンジ切換スイッチを左に回し、次の電流レンジ値を読みよくして、測定をして下さい。(図7)



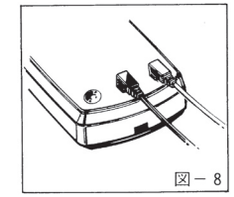
図－6



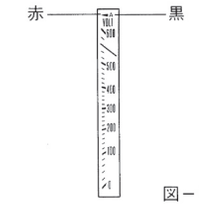
図－7

3-3. 交流電圧測定

（電圧スケールの印刷はすべて赤色です。）
(1) 測定コードの赤→VOLT(＋)端子
黒→COM (－)端子
(図8)

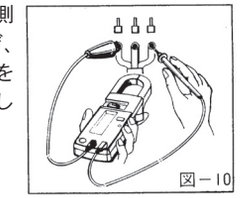

図－8

(2) レンジ切換スイッチを回転させ、電圧レンジの最高600Vをスケール窓に出して下さい。(図9)



図－9

(3) 測定コードの一方を被測定回路の一方につなぎ、次に他方の測定コードを回路の他方に触れ測定して下さい。(図10)


図－10

(4) 指示値が300V以上であれば、レンジ切換スイッチを右に回し、300Vスケールにて読み取って下さい。(図11) また、指示値が150V以下の場合は、さらにレンジ切換スイッチを右に回し、150Vレンジスケールにて読み取って下さい。(図12)

図－11

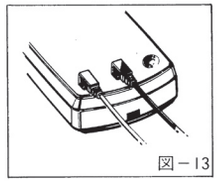
図－12

3-4. 抵抗測定

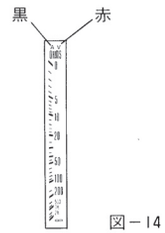
（抵抗スケールの印刷は黒色です。）

⚠ 注意
誤って電圧にかかった際、ヒューズ（0.5A/250V）にて本器を保護するようにしてありますが、抵抗測定の前には必ず回路を遮断して下さい。

(1) 測定コードの赤→OHM端子
黒→COM（—）（図13）

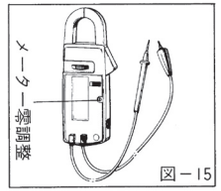

図－13

(2) レンジ切換スイッチを回転させ、抵抗レンジ（OHMS）をスケール窓に出して下さい。（図14）



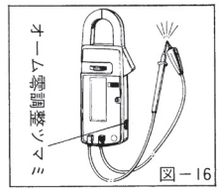
図－14

(3) 測定コードをオープンにした時、指針は抵抗スケールの“∞”を表示します。ずれている時は、指針ゼロ調整ネジにて正しく合わせて下さい。（図15）



図－15

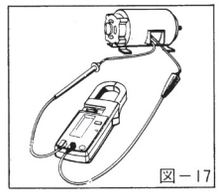
(4) 測定コードの両先端をショートさせ、本器右側のオーム零調整ツマミを回し、抵抗スケールの“0”に指針を合わせます。（図16）



図－16

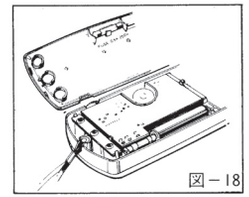
⚠ 注 意
オーム調整ツマミで調整しても指針が“0”位置まで振れない場合には、本器内臓の電池を交換して下さい。

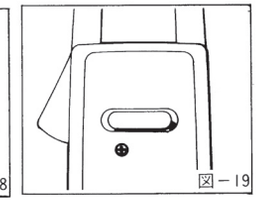
(5) 測定コードを被測体に接触し、測定抵抗値を読み取って下さい。（図17）


図－17

4. 電池及びヒューズ交換

電池及びヒューズは本体ケースに内蔵されています。（図18）交換は、裏側ケースを止めてあるネジをとり（図19）電池は極性を間違えないように入れ替えて下さい。


図－18


図－19

5. ロータリースケール（ダイヤドラム）上記号について

ロータリースケール（ダイヤルドラム）の最上部に印刷されているマークは、左右隣りのレンジを表示しています。

図－20

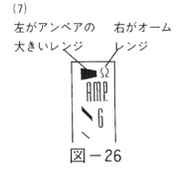
図－21

図－22

図－23

図－24

図－25



図－26

6. アフターサービス

6-1. 保証書について
本製品には保証書がついていますので、保障期間中の故障については、保証規定をお読みになり、ご利用下さい。保証書には、販売店・購入日が必要となりますので記入の確認をお願いします。記入のない場合は、保証期間中であってもサービスが受けられない場合があります。ご購入の際には必ず販売店にて記入を依頼し大切に保管して下さい。
保障期間は、ご購入日より１ケ年間です。

6-2. 修理を依頼される時には
お手数でも不具合の内容、お名前、ご住所、ご連絡先をご記入の上、本体が損傷しないように梱包し、弊社サービスセンターまたは販売店にお申し付け下さい。

6-3. 校正周期について
本製品を正しくご使用いただくため、1年間に1回は定期的に校正することをおすすめ致します。弊社サービスセンターまたは販売店にお申し付けください。

6-4. 補修用部品の最低保有期間
この測定器の機能、性能を維持するために必要な補修用部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。

●修理のご依頼●

電池の消耗・測定コードの断線を確認してから、輸送中に破損しないように充分な梱包をして、下記サービスセンターまたは販売店までお送りください。

〒797-0045　愛媛県西予市宇和町坂戸480
共立電気計器株式会社
サービスセンター
TEL 0894-62-1172
FAX 0894-62-5531

販売店名

この説明書に記載されている事項を断り無く変更することがありますのでご了承ください。

保 証 規 定

保証期間中に生じました故障は、以下の場合を除き無償で修理いたします。

1. 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障
2. お買い上げ後の持ち運びや輸送の際に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
3. 弊社サービス担当者以外の改造、修理、オーバーホールが原因で生じた故障。
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障。
5. 傷などの外観上の変化
6. その他弊社の責任とみなされない故障。
7. 電池などの消耗品の交換、補充。
8. 保証書のご提出がない場合。

◎ご注意
弊社で故障状態を確認していただき、上記に該当する場合は、有償とさせていただきます。
輸送途中に損傷が生じないように梱包を施し、弊社サービスセンターまたは販売店宛にお送りください。

年　月　日	修　理　内　容	担　当　者

保 証 書

MODEL2805	製造番号
保証期間　ご購入日（　　年　　月　　日）より1ヵ年間	

共立製品をお買い上げいただきありがとうございます。保障期間内に通常のお取扱で万一故障が生じた場合は、左記保証規定により無償で修理いたします。本書を添付の上、ご依頼ください。

お名前
ご住所　〒

お電話番号（　　）-（　　）-（　　）

◎保証規定をよくお読みください。
◎本保証書は日本国内のみ有効です。
◎本保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。
販売店名

共立電気計器株式会社
本　社　東京営業所　〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20 ☎03(3723)7021 FAX. 03(3723)0139
大阪営業所　〒564-0062 吹田市垂水町 3-16-3 江坂三昌ビル 6F ☎06(6337)8648 FAX. 06(6337)8590
仙台営業所　〒983-0841 仙台市宮城野区原町 1-3-21-308号 ☎022(297)9671 FAX. 022(298)8009
工　場　宇和島・愛媛
ホームページ　http://www.kew-ltd.co.jp

07-04　92-1154A